

## 第10回 第二期武蔵野市市民活動促進基本計画策定委員会 議事録

- ・日 時 令和4年3月8日(火曜日)午後6時30分～9時00分
- ・場 所 武蔵野市役所 813会議室
- ・出席者 朝岡委員長、見城委員、千種委員、町田委員、森副委員長、市川委員、北川委員、小島委員(名簿順、敬称略)(市川委員、北川委員はオンライン参加)
- ・欠席者 渡邊委員
- ・傍聴者 1名

### 1 開会

【委員長】ただ今より、第10回第二期武蔵野市市民活動促進基本計画策定委員会を開催します。

#### 【事務局】配布資料の確認

- ・資料1 第二期武蔵野市市民活動促進基本計画(案)
- ・資料2 課題の総括(まとめ)補足説明資料
- ・参考資料1 傍聴者意見
- ・参考資料2 傍聴者意見
- ・市民活動団体実態調査結果報告書(再配布)

### 2 議事

#### (1) 計画案について

【事務局】(資料1に基づいて説明)

【委員長】前回会議での意見を踏まえた提案事項が2点あります。1点目は、6ページの(2)を廃止して(3)を(2)に繰り上げたことにより、市民活動を支援するという文言をどこに入れるかが問題になりました。(2)市民活動の促進に資する学びの支援のところにもう1段落設けて4段落構成にし、そこに以前記載の市民活動支援の文言を入れ込んでどうかというご提案です。

2点目はタイトルの件で、「市民活動の促進に資する学びの支援」では活動支援のニュアンスが少し薄れてしまうためどうすればよいかという問題提起です。

この2点について、いかがでしょうか。

【D委員】新たに作られた第4段落の内容はこれでよいと思いますが、最初に持っていく方が収まりがよいのではないのでしょうか。

タイトルについては「多様な市民活動の促進に資する学びの支援」とすれば第4段落と第1～第3段落との融合が図れると思いました。

それから今の第1段落の文頭を「そうした多様な市民活動の発展には」とすれば、今の第4段落を受ける形になり流れがよくなると思います。

【委員長】タイトルを「多様な市民活動の促進に資する学びの支援」とし、今の第4段落の文頭にある「また」を削除して第1段落に持っていき、そして今の第1段落の文頭に「そうした多様な」という文言を入れるとのご提案をいただきました。

そのように変更したいと思いますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

では、6ページについてはこれで確定いたしました。

【事務局】市民活動のステージを削除したことにより33ページのリード文を少し変更しましたので、ご説明いたします。

元々の文章は「市民活動をより活性化し、自律性を高め、成長・発展を促し、将来にわたり持続可能なものとしていくため、市民活動の多様性とステージにあわせた支援が必要となります」で

したが、それを「多様な市民活動をより活性化していくため、市民活動主体の個別の状況に応じた支援が必要となります」という文章に変えております。

【委員長】この変更について、いかがでしょうか。

(異議なし)

では、これで確定したいと思います。

【事務局】(27、28ページについて資料2及び市民活動団体実態調査結果報告書に基づいて説明)

【委員長】

27～28ページの「3 本計画における課題の総括」について、市民活動団体実態調査結果報告書を根拠にこのような文言にしたということをご説明いただいたのですが、煩雑なので1項目ずつ文章を確認します。

まずは27ページの第1項目「市民活動への新たな参加の促進」を読み上げてください。

【事務局】(第1項目読み上げ)

【委員長】この文章でよいかどうかを審議したいと思います。特にないようですので、一旦これで確定したいと思います。

では、次に第2項目「市民活動に関する相談・コーディネート機能の充実」を読み上げてください。

【事務局】(第2項目読み上げ)

【委員長】今の文章についてお気付きの点等ございますか。

【A委員】「市民活動団体実態調査の結果からは」と冒頭にありますが、第1項目や第3項目を見ると「市民活動団体実態調査では」となっています。ここだけ「からは」としたことに何か理由はありますか。

【事務局】「市民活動団体実態調査では」で始まる第1項目、第3項目は文末が「うかがえます」となっており、文頭と文末がうまく合うようにという趣旨でこのようにいたしました。

今ご指摘いただいた第2項目の「市民活動団体実態調査の結果からは」については、文末が「読み取れます」となっており文章の据わりを考えてこのようにしており、特定の意味はありません。

【委員長】第1項目を一旦確定としましたが、修正の必要性を感じました。冒頭の「市民活動団体実態調査では」を削除してよいと思います。そうした場合、文末が「うかがえます」ではおかしいので「なっています」と変える必要があります。

第2項目も「市民活動団体実態調査の結果からは」を削除し、文末を「読み取れます」ではなく「わたっています」としたいと思います。実態調査という出典をいちいち記す必要はないと思いますが、いかがでしょうか。

【D委員】出典を記す必要がないのであれば、第2項目の3行目「一方で、第一期改定計画の取組みの評価では」も削除しますか。

【委員長】意味合いが違うので、そこはこのままでよいと思います。

先ほど私が申した第1項目及び第2項目の文章変更について、いかがでしょうか。

(異議なし)

ご承認いただきました。ありがとうございます。

次に、第3項目「市民活動の主体の状況に応じた各種支援の充実」を冒頭の「市民活動団体実態調査では」を削除したうえで読み上げていただき、それからご説明をお願いします。

【事務局】(第3項目読み上げ及び説明)

【委員長】この文章について何かございますか。

【副委員長】一段落目は課題が団体ごとに違うことが趣旨だと思いますが、この文章では、どの団体もこれらを課題に挙げているという言い回しになりませんか。

「活動継続の課題として、団体の種別ごとにスタッフ増強、資金確保、広報、活動拠点等、課題が異なっている様子が見受けられ」のようにした方が分かりやすいと思いました。

【委員長】1行目に「多くの団体が」とあるのは、これらの課題が共通のものであるということ

でしょう。

問題は2行目のややこしさです。例えば「とはいえ、ICT等の利活用も含む団体ごとのニーズには差異もみられます」とすればシンプルで分かりやすくなると思います。

【副委員長】1行目の課題は共通のものという認識でよいのですか。実態調査の27ページではNPO法人の69.4%が「活動資金の確保・充実」を課題としているのに対し、コミュニティ協議会はたったの7.7%です。団体によって課題は違うということを言いたいのではないのですか。

【事務局】団体により最重要課題は異なるかもしれませんが、活動拠点や資金確保、スタッフの増強といった項目に回答が集中しておりますので、どの団体も抱えている課題は共通しているという認識です。

【D委員】先ほど委員長からご提案のあった文章に直したうえで「とはいえ、団体の種別ごとに重点課題は異なっている様子が見受けられ」のようにしてはと思います。

【委員長】実態調査の27ページ、団体区分別の表を見ると確かに団体によって微妙にニーズが違ってくるように見えますが、共通してスタッフ増強、資金確保、活動拠点を課題としている傾向にあります。ただ、読み込んでいくと団体の種別ごとに重点課題が違ってくるのが分かるので、委員ご提案のように「とはいえ、団体の種別ごとに重点課題は異なっている様子が見受けられ」とすれば共通点もあるが相違点もある旨を表現できると思います。

【A委員】団体という言葉が既にたくさん出ているので、3行目はそれを外して「ICT等の利活用の状況にも差異がうかがえます」にしてはどうかと思います。

【委員長】賛成です。

【A委員】最終行に「活動促進のあり方」と書かれていますが、ここは「活動支援のあり方」にしていただきたいと思います。

【委員長】基本施策2も活動支援ですし、促進と支援とではニュアンスが異なるため委員のおっしゃった文言に変更したいと思いますが、いかがでしょうか。

(異議なし)

ありがとうございます。ほかに何かございますか。

【B委員】下から3行目「特定の団体に所属しない個人による活動やプロジェクト型の短期的な活動」の次に児童や学生という文言を入れていただきたいと思います。次世代の部分が今の感じでは出てこないのので、あえてこの文言を入れ込んではどうかと思うのですが、いかがでしょうか。

【委員長】文案を言っていただくと議論しやすいと思います。

【B委員】文案としては「特定の団体に所属しない個人による活動やプロジェクト型の短期的な活動、児童や学生など」という形になります。

【D委員】入れるとすれば「児童・学生による活動」にした方がよいのではないのでしょうか。

【F委員】児童の活動を主体的な活動としてしまってもよいものか、私は判断しかねます。

【委員長】誰も今のご提案に反対はしていませんが、どのように書けばよいかと悩んでいる状況です。

「特定の団体に所属しない個人による活動」は漏れがちな個人を、「プロジェクト型の短期的な活動」は長期的でない課題設定型の活動をそれぞれ視野に入れているわけですが、その次に児童・学生と対象を絞ってよいものかということで「未来世代による活動」としてはどうかと思います。

【事務局】この計画では若者世代という言葉を用いています。

【委員長】子どもというニュアンスを入れたいわけですが、子どもは「若者」とはニュアンスが違います。施策の中に「子ども・若者」という表記があるので、それにならしましょう。

「また、特定の団体に所属しない個人による活動やプロジェクト型の短期的な活動、子ども・若者による活動など」という形にしたいと思います。(修正文読み上げ)

これでよろしいでしょうか。

(異議なし)

ありがとうございます。第3項目についてはこれで確定したいと思います。

次に、28ページの第4項目「市民活動の拠点となる施設の機能充実」の全文を読み上げたうえでご説明をお願いします。

【事務局】（第4項目読み上げ及び説明）

【委員長】何かございますか。

【D委員】第1段落の最後は「一方で各施設の特色や利用方法などを分かりやすく発信していく必要があります」となっていますが「これら各施設が十分に活用されるよう、それぞれの特色や利用方法などを分かりやすく発信していく必要があります」にした方が前の文章とのつながりがよくなりますし、先ほどの課題の指摘とも合致すると思います。

【委員長】今のご提案について、いかがでしょうか。

【事務局】第1段落の3行目に「活用されています」とありますので、委員ご提案のように「活用されるよう」としますと語句が重なってしまいます。

【委員長】3行目の「活用」は除いて「各種活動の場が用意されています」とすれば問題ないと思います。

【D委員】最終段落の冒頭にある「近年のICTの進展・普及に新型コロナウイルスの影響が相まって」という文章は要らないと思います。

【委員長】事実ではありますが、あえて今の状況に言及する必要はないため削除してもよいのではないかということです。それでよろしいですね。

【C委員】下から2行目の「同時にICT活用に課題を感じている」という文章は入れなくてもよいと思います。

【F委員】ここの文章は、ハード面を充実させるとともに市民がそれを円滑に活用できるため人的支援を行うということが書いてあるわけですね。私たち団体の中にはそういう認識がありますが、基本計画の中にそれを書き込むかどうかです。

【D委員】「同時にこうした情報環境が十分に活用されるよう、市民や団体等に向けた支援を充実させていくことが求められます」としてはどうでしょうか。

【委員長】今ご提案の文章でもよいのですが「同時に市民や団体等に向けたICT活用の支援を充実させていくことが求められます」という文章も考えられます。これでもよろしいですね。

【副委員長】そうするのであれば、本文下の「本計画での対応」に、ICTの活用支援が含まれている基本施策2も記載してはどうかと思います。

【委員長】おっしゃるとおりですので、そのようにしたいと思います。

【事務局】（修正文読み上げ）

このように修正したうえで「本計画での対応」のところに基本施策2を追加いたします。

【委員長】これでよろしいでしょうか。

（異議なし）

ありがとうございます。第4項目についてはこれで確定したいと思います。

次に、第5項目「連携・協働の推進」の全文を読み上げたうえでご説明をお願いいたします。

【事務局】（第5項目読み上げ及び説明）

【委員長】何かございますか。

【B委員】1行目に「相互の交流」とありますが、交流自体が相互に行うものなので「相互の」は要らないと思います。

【委員長】おっしゃるとおりですので「相互の」は削除します。

【B委員】3行目に「市民活動に関わる市民活動団体」とありますが言葉が重複しているので「市民活動団体に関わる団体」にしてはいかがでしょうか。

【委員長】そのように修正したいと思います。

【F委員】第2段落に「連携・協働」と繰り返し出てきますので、これを少し整理できないかと思います。

【委員長】下から2行目の「また連携・協働の推進に向けて」を「そのために」に置き換えるというのはどうでしょうか。

(異議なし)

ありがとうございます。そのように修正したいと思います。

【D委員】第2段落の1行目に「市の関係部署のほか様々な関係機関」とあり、ここも言葉が重複しています。「市の関係部署のほか様々な機関」としてはどうでしょうか。

同じ第2段落に「コーディネート機能は」という主語があり、それを受けて「市全体として機能を高めていく必要があります」となっていますが、ここも「機能」が重複しているので「市全体として高めていく必要があります」だけでよいと思います。

【委員長】ごもっともですので、そのようにしたいと思います。ほかにはよろしいですか。

【事務局】(修正文読み上げ)

【委員長】これでよろしいでしょうか。

(異議なし)

ありがとうございます。第5項目についてはこれで確定したいと思います。

次回は計画案全体の確認を行う予定ですが、今日のうちに言っておきたいことなどはありますか。

【事務局】2点あります。1点目ですが、資料1の4ページをご覧ください。こちらの最後に脚注を付けたいと考えています。パブリックコメントでもご意見をいただきましたが、市民の範囲について説明が必要と思われるためです。

2点目、残された課題について別のセクションを作った方がよいというご意見をいただいていたのですが、27ページの第3項目、下から2行目に個人による活動における課題へのアプローチを記載しました。この形でご了承いただければと思います。

【事務局】2点目について補足します。27ページの下から2行目「個人による活動」について委員の皆様がどのようなイメージを持たれているかを確認できれば、それを踏まえて具体的な検討ができると思います。具体的な事例等がありましたらご教示ください。

【委員長】1点目は資料1の4ページに脚注を入れたいというご提案です。

市民活動促進基本計画における市民とは一体何を指すのか、在住者だけにすべきではないのかとのご意見がパブリックコメントの中にあっただけですが、在住者だけでなく在勤・在学の方や市内で活動している方も市民の範囲に含めるとする趣旨の脚注になると思います。

ただ「市民とは」にすると武蔵野市民を指していると誤解されるかもしれません。対象を明確にするためにも「市民活動における市民の範囲は」にしてはと思いますが、いかがでしょうか。

(異議なし)

ありがとうございます。

2点目、この委員会で結論が出なかったものもあるからこういう議論が残っていると本文とは別に書き出してはとのご意見がありました。27～28ページの「本計画における課題の総括」にかなり入れ込んでいるためその必要はないというのが事務局の考えで、私もそれが妥当かと思えます。今後の検討や計画の実行段階における参考とするため個人による活動について委員の皆さんから補足の発言をいただきたいという事務局からのお願いがありました。何かありますか。

【D委員】吉祥寺のサンロード商店街にあるカフェバーが子ども食堂を始めたという記事をネットで見ました。

これまでの市民活動促進基本計画では団体として組織化されていて、なおかつある程度の継続性を持った活動がメインに据えられていましたが、今ご紹介した例のような組織化された団体ではなく、しかもずっと続けるか分からないものも市民活動に含める必要があると思います。

そこにどのような支援ができるかですが、市内でこういう活動があると市民に広く知ってもらうため、個人による活動の情報を提供する場を設けることが考えられます。

また、個人ベースの市民活動を育てていける仕組みがあればと思います。委員のどなたかがおっしゃっていた「この指とまれ方式」、こういうことをしたいから手伝ってくれる人は集まってく

ださいという形にすれば市民活動を生み出せる可能性が広がっていくのではないのでしょうか。既にインターネットを通じて特技や能力のある人が集まり市民が課題と思っていることに取り組むという活動は行われています。

一時的なつながりでも公共的な課題に取り組んでいくというのは多くの人の関心を引きますので、それを市としてどうサポートできるかといえば、活動のリーダーが出す情報をより多くの人に届けるといった形が考えられると思います。

まとめますと、個人ベースの活動をより多くの人ができるプラットフォームの整備、それから個人ベースでの課題型の活動を育てていける仕組みづくりを今後検討していただければよいと考えております。

【A委員】今おっしゃっていた子ども食堂を始めたカフェバーですが、残念ながらもうじき閉めると聞いております。

自分たちが住んでいるまたは働いているまちを盛り上げたい、愛着をもっと感じたいという若者や子育て世代の個人による活動が増えており、今の暮らしに変化を求めて団体どうしが結びつく、もしくは個人の呼びかけでプロジェクトが発生していることがあります。

愛着ということであれば個人のWebメディアに注目してよいと思います。Facebook・Twitter・Instagramを活用し、まちの面白い情報等を発信している方々が多数います。

例えば「きちママ」というWebメディアは吉祥寺や三鷹を家族で楽しむことをテーマにしていて、まちを盛り上げようとしているWebメディアには吉祥寺活性化協議会の「吉祥寺.me」や武蔵野市観光機構の「むー観」があります。

未来塾で出会った人たちが作った「Meetむさしの」は市民活動をしている個人に、「ルート634」は事業主にスポットを当て、そういう人のインタビュー記事を載せているWebメディアです。

「むーふぁみマップ」は子連れにおすすめの遊び場、イベント等を紹介しているWebメディアで、「吉祥寺ロコ」は地域密着型の情報を発信しています。

このようなWebサイトを通して個人や団体が発信する市民活動というのは、いろいろな面で助けてくれます。市報や市のホームページを読まずにコミセンにも行かない人たちがこういったところで情報を得てイベント等に参加できるということで、非常に強力な市民活動だと感じています。

それから、お店がハブとなりコミュニティを形成しているものもあります。例えば「MIDOLINO」はシェアキッチンということで、その中で様々な飲食店が開業しています。

創業支援も兼ねているコワーキングスペースは起業しようとしている人たちの居場所にもなっており、それが結構大きいと思います。コワーキングスペースやシェアキッチンという場が新たなコミュニティであり、市民活動のハブになっています。

プロジェクト型とは各種市民活動団体とWebメディアを使って活動している個人が組んで発信や呼びかけをするもので、そこには学生や子育て世代、団体等いろいろな人たちが関わっているということに注目してほしいと思います。

【委員長】お二方にご発言いただいた内容は資料1、27ページの第3項目「市民活動の主体の状況に応じた各種支援の充実」のとりわけ最終行に関連します。

特定の団体に所属しない個人やプロジェクト型の活動事例のご紹介があり、そういうものに対してはこのような形で支援した方がよいという具体的なご提案をいただきました。

委員がおっしゃった多数の事例を事務局でまた調べてみて、そういう団体にとってはどのような支援が可能なのかということを経営として考えていただければと思います。

【副委員長】福祉分野で言えば、参加者だけが癒され落ち着ける活動というのも重要だと思っています。

ピアミーティングや自助グループへの参加によって生きづらさが軽減される、あるいは思いが共有できるというように当事者の方にしかメリットがないことでも市民活動だと認めてくれる武蔵野市であってほしいと思います。

思いの共有には個人差があり同じ病気でも感じ方が違いますので、カテゴライズする場ではなく、

偶然同じような方々が集まり小規模で細く長く続くようなものも大事な市民活動ではないかと考えています。

【委員長】誰かのために何かをするのではなく、自分自身がコミュニティに入ることによって意義を感じるというお話ですね。

【B委員】今回は市民活動を促進させるという意味があるので、第一段階としてボランティアを知ってみるだけでもよいと思います。

私は子どもと関わることが多いのですが、子どもたちにとって市民活動というのは未知のものですので分かりやすいように間口を広げておくのも一つの手と思っています。

子どもから大人まで何もなくても過ごせる広い意味での居場所をつくっておけば、課題になる前の段階でサポートできる可能性もあります。

市内各団体の活動内容を市でまとめていただければ入りやすいかもしれません。それと、各コミセンのホームページが非常に見づらいので改善する必要があります。子どもたちも結構コミセンを利用しますが、卓球などの特定目的の利用がほとんどなので、何かコミセンが変わるきっかけができればとも思います。

【C委員】個人の活動も市民活動であるということ自体、認識していない人たちが結構いるのではないのでしょうか。ですから、気付きというものが必要と思っております。

【A委員】今のお話は以前のこの委員会で私が言っていたことに近いと思います。先ほどから私たちが言っている個人の活動やプロジェクト型の活動というものに皆さんなじみがないわけです。それでコミュニティ活動と言い換えてはどうかと私が提案していたと思います。

市民活動の実態がよく分からずコミセンで行っているものを市民活動と捉えている人がほとんどです。有償もボランティアも全部含めて市民活動だという認識がもっとされれば武蔵野市の市民活動は劇的に変化すると信じています。

【委員長】多様なご意見をいただき、ありがとうございます。皆さんのお話を武蔵野市に引き取っていただいて議論した方がよいと思います。

お話を伺っている間に気付いたことがあります。情報や人が交流する場のことを指す「プラットフォーム」という言葉がこの計画には全く出てきません。

新型コロナウイルス感染症の拡大によってこれだけリモートが進んでいくと、リアルなプラットフォームだけではなくオンライン上でのプラットフォームが非常に重要になってきます。

ただ、旧来のように行政や企業がプラットフォームを用意するのではなく市民が自主的に多様なプラットフォームをつくるのが大事で、それを行政がどう支援するのかというところが課題として残されていると考えました。

## (2) その他

【委員長】その他について、何かございますか。

【事務局】（次回の日程等について説明・詳細は下記の事務連絡参照）

## 3 事務連絡

- ・第11回策定委員会 3月10日（木）18:30～ 於：総合体育館大会議室
- ・市長への報告 3月25日（金）16:30～17:00

## 4 閉会

【委員長】本日は長時間にわたりまして、ありがとうございました。

以上